



春のように温かい日と、雪が積もる寒い日とあり、体がなかなか追いつかない1月でした。

園内では、昨年の12月にインフルエンザA型が流行しましたが、1月は比較的インフルエンザが落ち着いていたように思います。ですが、新型コロナウイルス感染症も少しずつ増えています。まだまだ空気が乾燥するこの季節。加湿器やスプレーミスト、洗濯物を干すなどで室内の加湿をすることも感染症予防には効果的です。

生活リズムを整え、感染症対策も続けていきましょう。

予防接種は順調に進められていますか

子どもの感染症は予防が第一です

乳幼児期には免疫（病気に対する抵抗力）が未発達なため、さまざまな感染症にかかります。そして感染していくことで免疫をつけながら成長していくのです。でも、子どもがかかりやすい感染症は、かぜのように軽いものだけではありません。中には、確実な治療法がなくて、深刻な合併症や後遺症をおこしたり、命を落としたりする危険がある病気もあります。こうした感染症は、からないようにまず予防することが大切です。ワクチンこそ、もっとも安全な予防方法です。

感染症を予防するのに、安全で確実性の高い方法が、ワクチンの接種です。ワクチンは、病気を防ぐために必要な免疫を安全につける方法です。ワクチンを接種することで、子どもたちを病気から守ることができます。

せっかくワクチンというすぐれた予防法があるのに、使わないのはとてももったいないことですね。大切なわが子を守るためにも、ワクチンのメリットを最大限にいかしましょう。

スケジュールについて添付しますので、かかりつけ医とご相談くださいね。

子どものかかりやすい、主な感染症
～VPDとVPDでないもの～

●突発性発しん	●B型肝炎	●A型肝炎	●ロタウイルス感染症
●ヘルパンギーナ	●ヒブ感染症	●小児の肺炎球菌感染症	
●手足口病	●ジフテリア	●百日せき	●破傷風
●伝染性紅斑(りんご病)	●ポリオ	●結核	●インフルエンザ
●咽頭結膜熱(メール熱)	●新型コロナウイルス感染症		●水痘
●とびひ	●麻しん(はしか)・風しん		●日本脳炎
●マイコプラズマ肺炎	●おたふくかぜ(流行性耳下腺炎)	●細胞炎感染症	
●尿路感染症	●ヒトパピローマウイルス感染症		
…その他			

↓
VPDでない感染症
ワクチンがない
予防が難しい感染症

↓
VPDの感染症
ワクチンがある
予防が可能な感染症

おしゃせ

- ☆ 新型コロナウイルス感染症やインフルエンザとともに、症状が出てすぐの検査の場合は、陰性となることがあるようです。症状が続くようなら、翌日以降の再受診や再検査についてかかりつけ医にご相談ください。
- ☆ 2/5 (木) ~2/11 (水) までみれ組・れんげ組・さくら組のお子さまに3回目のダウンメティアチャレンジをしようと思います。その期間に体調が思わしくなかった場合は後日のチャレンジでも結構ですので、無理のない範囲でチャレンジしてみてくださいね。

